

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
37304	介護概論 Care for the Elder & Handicapped	梶原稚子		共通	2	選択	1・2年前期

**科目の概要**

介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを学び、介護・福祉サービスを提供するにあつたでの基本的な視点等を習得することによって、介護の講義の土台になるようにします。特に、介護職に求められる専門性・職業倫理については理解を深められるようにします。  
目標とする介護資格取得の専門的知識・技能（感染・事故防止）を習得していきます。

学修内容	到達目標
①利用者の尊厳のある暮らしを支える介護者の役割について学ぶ。 ②介護職の専門性、職業倫理について学ぶ。 ③介護におけるリスク・対策について学ぶ。 ④自立支援・介護予防について学ぶ。	①介護職の役割について考察することができる。 ②介護職の専門性・職業倫理を述べるすることができる。 ③介護におけるリスク・対策を述べるすることができる。 ④自立支援・介護予防を述べるすることができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	シラバスを活用し、講義内容を予習・復習し、自発的に事後学習ノートを作成する。
	働きかけ力	
	実行力	一度やり始めたことは、最後までやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、多様性を持ち、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表すことができる。
	傾聴力	グループワーク中、メンバーの意見を聴き、自己の考えを発展させることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：一般社団法人 長寿社会開発センター 第1巻「人間と社会」  
参考文献：なし

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：介護初任者研修科目  
資格との関連：介護初任者研修資格

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎回、シラバスで講義内容、課題の提出は確認すること</li> <li>・ 基本的な用語は暗記すること。</li> </ul> <p>覚えることが多いので、予習・復習で自己学習ノートを作成し、こまめに学修すること。一夜漬けは無理です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義は1日で2回実施するので注意すること。</li> <li>・ 介護職員初任者の資格取得には、評価が「良」以上あること。</li> <li>・ 講義中の私語、居眠りは慎むこと</li> <li>・ 欠席した場合のレポートは、シラバスで講義内容を確認して作成すること</li> <li>・ 講義中の写真撮影は禁止、講義内容はSNSにあげないこと</li> <li>・ 課題の提出は講義前であり、講義開始後は受け取らない</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験 筆記(レポート含む)・実技・口述試験	40	①	✓	筆記試験（講義終了後）は4択もしくは5択問題を出題する。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
	小テスト	20	①	✓	小テストを2回実施する。 ・専門用語の意味を記述する。 ・10問ずつ実施する。 ・事前にテスト内容は伝えるが、テキストの持ち込みは禁止。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
	レポート	20	①	✓	レポートは3回実施する。 1回目：高齢者体験を行い学んだこと（300字前後、5点） 2回目：事象事例を用いて、原因・分析・対策をグループワークして学んだこと（400字前後、5点） 3回目：介護観（1200字前後、15点） 評価の基準 ・課題を適切に捉えて意見を述べているか（3点） ・テキストを活用しているか（1点） ・文字数、誤字はないか（1点）
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
平常評価 成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	10	①	✓	グループワークを2回実施し、発表（2点×2回） 介護観の発表（3点） 演習時の技術の習得状況（3点）	
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・技能習得のための予習ができる。 (実行力) ・課題提出のために目標に向かって進めることができる。 (課題発見力) ・到達目標のために自分なりに課題を考えて学修することができる。 (創造力) ・固定概念にとらわれず、新しい発想のもとに課題に取り組むことができる。 (発信力) ・発表の仕方を工夫してわかりやすく発表できる。 (傾聴力) ・大事な事はメモをとりながら、しっかり聞くことができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
総合評価 割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
評価方法の採点基準（上記記入）で S（秀）：90点以上 A（優）：80点以上 授業内で実施する小テスト、レポート、成果発表と筆記試験を合わせて、上記の採点基準で評価する。	評価方法の基準（上記記入）で B（良）：70点以上 C（可）：60点以上 授業内で実施する小テスト、レポート、成果発表と筆記試験を合わせて、上記の採点基準で評価する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・科目「介護概論」がどのような学習内容か把握し、今後の介護の科目に生かす心構えを学びます。	講義	・介護概論は何を学修するのかを述べるができる。 ・介護のイメージを言語化できる。	(復習) ・テキストp1~32 (予習) ・テキストp.33~44 介護概論は何を学修するか、また介護のイメージを述べるができるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
2週 /	・介護の職務、介護保険のしくみを学びます。	講義	・介護を取り巻く現状を説明できる。 ・介護職員初任者研修課程との関連が比較できる。 ・介護保険の基本的な流れが説明できる。	上記同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
3週 /	・人権と尊厳の保持について学びます。	高齢者体験のレポート提出 講義 前回テキストが間に合っていない場合は復習	・個人の尊厳と自立・自律について記述できる。 ・尊厳を法律で定められている内容を権利を述べるができる。	(予習) ・テキストp.45~60 (復習)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
4週 /	・高齢者体験モデルの気づきをもとに高齢者の身体・精神・社会的特徴を述べるができる。  *演習できるように、スカート、ヒールは	演習(高齢者体験)発表	・高齢者体験の気づきを発表できる。 ・クラスの学びを知り、高齢者の身体・精神・社会的特徴を記述できる。	上記同様。 ・高齢者体験モデルの学びを次回講義前に提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
5週 /	・アドボガシー、エンパワメント、ICF、QOL、ノーマライゼーションについて学びます。	講義	・アドボガシー、エンパワメント、ICF、QOL、ノーマライゼーションの意味が記述できる。	(予習) ・テキストp.61~95	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
6週 /	・虐待防止、身体拘束の禁止、個人の権利を守る制度について学びます。	講義 事例検討	・虐待の実態から、原因や対策が説明できる。 ・身体拘束の禁止の意義、リスクが説明できる。 ・個人の権利を守る制度が説明できる。	上記同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
7週 /	・介護の基本と地域包括システムについて学びます。	講義	・自立支援、介護予防の重要性が説明できる。 ・地域包括システムとは何かを記述できる。	(予習) ・テキストp.101~133 (復習) (次回) ・小テスト	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
8週 /	・介護職の役割、専門性と他職種との連携について学びます。	講義 第1~8回目までの講義の復習	・介護の役割、他職種との連携の重要性が説明できる。 ・倫理の重要性が説明できる。	上記同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・第1～8回までの知識の確認をします。 ・介護の職業倫理の重要性を学びます。	小テスト 講義 事例検討	・介護の倫理、介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重について説明ができる。	(予習) ・テキストp.101～146 (復習)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
10週 /	・介護における安全確保とリスクマネジメントについて学びます。	講義 事例検討 小テストのフィードバック	・起きやすい事故の原因、対策が説明できる。 ・リスクマネジメント、事故報告書を事例を通して説明できる。	上記同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
11週 /	・感染対策（手洗い、手袋の着脱、マスク、エプロン、隔離）の知識を学びます。	講義	・根拠と注意事項を暗記しながら、手技を覚える。	(予習) ・テキストp.147～161 (復習)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
12週 /	・事例を通して、事故の原因、対策、事後報告書の記入ができるように演習します。	グループワーク・発表 第9回目から第12回目までの復習	・事故の原因、対策を導くことができる。 ・グループワークの内容を他者に分かるように発表できる。 ・復習内容が想起できる。	上記同様 (次回) ・グループワーク発表を聴いた学びを次回講義前に提出 ・小テスト	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
13週 /	・第9～12回までの知識の確認をします。 ・介護職の心身の健康管理について学び、自己のストレスの対処方法を学びます。	小テスト 講義	・介護職の心身の健康障害、ストレスを説明できる。 ・自己のストレスの傾向を見つめ、対処方法を考える。	(次回課題提出) ・介護観レポート (復習)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
14週 /	・感染対策（手洗い、手袋の着脱、マスクの着脱、ガウンテクニック）の技能の習得を目指します。	演習 小テストのフィードバック	・感染対策（手洗い、手袋の着脱、マスクの着脱、ガウンテクニック）の技能が習得できる。	上記同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
15週 /	・「介護概論」を通して学んできたことを再構築します。	発表、意見交換	・14回までの講義を振り返り、文献を用いてレポートし、分かりやすく発表する。	(次の時間) 筆記試験 介護観レポート提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力